

ご意見及びご意見に対する考え方

整理 番号	ご意見の概要	ご意見に対する考え方
1	CCS は二酸化炭素を地中貯留するためのリサイクル要素はない。 カーボンリサイクルのところは、CCS でなく CCU とすべきである。	該当部分は脱炭素成長型経済構造移行推進戦略（GX 推進戦略）における記載を抜粋して記載したものです。
2	カーボンニュートラルにお金をかけるのはやめるべき。	2050 年に向けたカーボンニュートラルへの移行を実現するためには、エネルギー部門の取組が重要となり、とりわけ、燃焼しても大気中に CO₂が増加せず、化石燃料の代替となる「脱炭素燃料」の実装が鍵となります。 「脱炭素燃料」の社会実装は、海外の化石燃料に依存する我が国のエネルギー需給構造の変革をもたらす可能性があり、エネルギー安全保障の観点からも重要なものとなっています。 また、その特性として、既存のインフラを活用することで導入コストを押さえられるとともに、製造技術に関する課題を解決し、製造コストを下げることができれば、社会実装が可能となります。 さらに、電化・水素エネルギーへの代替が困難又は限定的となってしまう分野においても、既存の化石燃料からの代替が可能であると考えられます。こうした優位性から、脱炭素社会の実現に向けた多様な選択肢の一つとして、技術開発を促進することが重要と考えています。 商用化レベルでの製造技術を世界に先駆けて我が国企業が確立し、海外各国へ技術や設備、それらの利用に係るノウハウ・知見等を展開することは、世界における「脱炭素燃料」市場の獲得及び CO₂削減に貢献することにも繋がることから、本計画を進めることが重要と考えています。
3	（合成メタンや）合成燃料などは経済合理性があるのか疑問。原理的にグリーン水素よりも価格が安くなることはなく、開発は無駄ではないか。	
4	日本がカーボンニュートラルを達成しても世界全体への効果は軽微であり、多大な費用をかけて目指す必要はないと考えるが、合成燃料製造にあたってエネルギー収支がプラスであるのであれば賛成。	